

事務事業名		高齢者ショートステイ事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 自立支援サービスの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4842	一般	3	1	3	高齢者ショートステイ事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業					市単独事業				
		任意的事業・義務的事業					任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成12年度～		年度	根拠法令 条例等	佐野市高齢者自立生活支援事業実施要綱		実施方法		一部委託
								事業分類		現金・現物給付事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長マニフェスト		2-9	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
日常生活に不安のある高齢者の家族が疾病、冠婚葬祭等の際に、特別養護老人ホームにおいて一時的に養護する。6か月当たり5日まで利用できる。本人・家族の申請により状況を確認し受付、サービス希望委託事業者に連絡調整を図りサービスを提供する。	日常生活に不安のある高齢者の家族が疾病、冠婚葬祭等の場合に一時的に特別養護老人ホームにおいて養護する。平成26年度は2人の利用があった。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	利用者数	人	0	2	2		
	利用日数	日	0	9	10		
	委託事業者数	箇所	7	10	10		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

介護保険の要介護認定で非該当の者で家族が疾病、冠婚葬祭等により養護が受けられない高齢者。	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	65歳以上高齢者数	人	31,140	32,923	34,706		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

介護をいつまでも必要としない高齢者を増やしていく。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	要介護認定者数	人	5,805	5,978	6,281		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

自立した在宅生活をしてもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	在宅福祉サービス利用者数	人	1,526	6,934	7,000		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	0		57		205					
	事業費計(A)	千円	0		57		205		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			ショートステイ委託料	0	ショートステイ委託料	57	ショートステイ委託料	205				
	人件費	人	1		1		1					
のべ業務時間	時間	15		15		15						
人件費計(B)	千円	58		59		59		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	58		116		264		0		0		

事務事業名	高齢者ショートステイ事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	--------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市として寝たきり高齢者等の支援のため、ショートステイ事業を実施していたが、平成12年4月の介護保険制度創設に伴い、この事業のサービスを受けていた方は介護保険制度のサービスに移行した。この制度改正の激変緩和措置として、この事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	支援が必要な方は、ほとんど要介護認定の対象となるため、この事業の利用対象者は少ない。しかし、平成18年4月より高齢者虐待防止法の施行に伴う緊急避難としてのショートステイ制度等が導入されたことにより、この制度の利用者の増も見込まれる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	この事業を通して、高齢者が同居家族の疾病等の場合、特別養護老人ホームにおいて養護が受けられることは高齢者と同居している家族が安定した生活が送れ、その結果在宅福祉の推進が図れると共に、自立した在宅生活を続けてもらうことが出来るため意図は結果に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	日常生活に不安のある高齢者の家族が疾病、冠婚葬祭等の場合に高齢者自立生活支援事業実施要綱に基づき一時的に特別養護老人ホームにおいて養護することは、老人福祉増進のための自治体の責務であり、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	面倒をみる家族がいないときに、行き場のない高齢者を一時的に養護することは、豊かな長寿社会の実現には不可欠であり、対象と意図は妥当である。なお、本事業は、高齢者虐待における一時避難場所として利用するためにも必要な事業である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	現在、ショートステイを必要とされている方には全て対応し満足を得られており、事業の成果は出ている。事業の対象者は限られているため、これ以上の成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費の主なものは、サービスを行なった業者に対する費用であり、この費用は介護保険法のサービス基準単価を適用しているため、事業費を削減する余地はない。また、人件費についても、必要最小限の人数で対応しており、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	利用料については、介護保険法のサービスの基準単価に基づき、利用者から一律に徴収するため受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
日常生活に不安のある高齢者及び同居している家族の安定した生活の確保を図るために必要な事業であり、休止・廃止はできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					